



たらぎ議会だより

No.122

令和4年2月3日
熊本県多良木町議会発行

山の安全を願って!!

妙見野

12月定例会議

年頭あいさつ・・・P2

6人が質す! P5～P10

委員会活動・・・P11

2022 新年のごあいさつ



議長
たかはし ゆうこ
高橋 裕子

あけましておめでとうございます。
町民の皆様には平素より議会に対しまして深いご理解を賜わり厚く感謝申し上げます。

今年の「^{みずのえとら}壬寅」は新しい成長が始まる年と言われる大いに期待するところです。

議会では一昨年よりの新型コロナウイルス感染症への対応や、町の政策の柱となる「第6次多良木町総合計画」の令和3年度内策定に向けて協議等を進めており、地域商社「たらぎ財団」・「公共施設等総合管理事業」等々、町の根幹を成す事業計画に職員の頑張り「明るい、希望ある多良木町」が見え、期待しております。

今後も議会と執行部の両輪を念頭に先見の明を持ち徹底した協議を行ってまいります。

町民の皆様には更なる「住民主体の町づくり」への参加、ご協力をお願い致しますと共に心健やかなる日々の訪れをご祈念申し上げまして新年のご挨拶といたします。



町民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えの事とお喜びを申し上げます。

年始を迎え、1月4日の成人式を皮切りに各種行事へ参加させていただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染の再拡大により、成人式を除く様々な行事が中止となってきております。

しかし、私たちには、立ち止まる余裕などありません。少子高齢化・農林業振興・景気回復・災害に強い町づくり等、早急に取り組まなければならない諸問題が山積致しております。

コロナ禍に臆する事なく、町民皆様の声を「聞く」・「見る」・「動く」を合言葉に全議員一丸となって議会活動をより強力に進めてまいりますので、町民皆様のご協力、叱咤激励をお願い致しまして、年頭のご挨拶と致します。



副議長
なかむら まさのり
中村 正徳

子育て世帯への臨時特別給付事業に 7,519万円を補正

一般会計予算 総額80億2,211万円

一般会計補正

主な事業

*千円切り捨て



馬門・宮ヶ野線

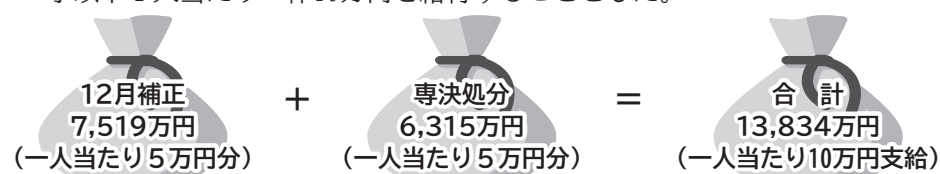
- (※注1)
○子育て世帯への臨時特別給付事業 7,519万円
- 町道舗装工事（馬門・宮ヶ野線） 3,275万円
- ふるさと応援寄附事業補助（たらぎまちづくり推進機構） 1,422万円



林道槻木南線災害復旧箇所

- 新型コロナウイルス感染症対策商工業等事業継続支援金 2,780万円
- 令和2年災林業用施設災害復旧工事（槻木南線・荒水谷線等） 1,811万円
- 指定避難所整備工事（久米小学校体育館トイレ増額分） 950万円

※注1 子育て世帯への臨時特別給付金について、当初現金5万円とクーポン5万円の支給ということで準備をしていたが、国より現金10万円での一括支給が可能という連絡があったため、本町も現金10万円の支給に切り替えることとなった。そのため、予算額7,519万円に、6,315万円を追加する専決処分を行い、18才以下1人当たり一律10万円を給付することとした。



特別会計補正

	補正額	予算総額
国民健康保険(事業勘定)	1億536万9千円	14億936万3千円
久米財産区	501万7千円	1,650万3千円
下水道事業	52万6千円	3億834万2千円
介護保険	1,582万9千円	15億9,045万7千円

令和3年度12月定例会議は7日から14日までとし、報告1件・条例等7件・補正予算5件を審議し可決した。一般質問には6人の議員が執行部の考えを質した。

多良木学園の指定管理期間を1年延長

(令和4年3月31日を令和5年3月31日までに変更)

☆指定の期間を変更する理由

多良木学園を民営化するに当たり「補助事業等により取得し、又は増加した財産の処分等の承認基準について」財産処分に係る承認申請等の手続きに期間を要するため。

指定管理者 社会福祉法人 つつじヶ丘学園（3月に再契約を交わす）

その他の条例改正 6件

主な条例改正

国民健康保険条例の一部改正	改正前	改正後
出産育児一時金	404,000円	→ 408,000円
健康保険法施行令第36条規定する出産	16,000円	→ 12,000円
	420,000円	→ 420,000円 (総額同額)



定期監査は

☆主眼点

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について、執行は計画的かつ効率的に行われているか。事務処理に法令違反の点はないか。常に住民の福祉に役立つように考え進められているか等を主眼として実施された。

☆総括

各事業の遂行に当たって、財務に関する事務の執行が計画的かつ効率的に行われており、事務処理も法令にのっとり、概ね適正に行われていた。

町営事業である「えびすの湯」「堆肥センター」の今後の運営のあり方については全庁的な課題として早急に町の方針を決定すべきと指摘された。

☆基金の保有状況

31億8,999万円、前年同期より2億7,503万8千円増加した。

指摘された施設



えびすの湯



多良木町堆肥センター

Q 通学路の安全対策は

A 学校関係機関と協議

行っている。また、危険と思われる箇所のカーブミラーやガードレールの設置は、順次進めていく。

質問

通学路の危険箇所の把握と安全対策は。

黒木生涯学習課長

学校長・区長会・熊本県・多良木警察署等で構成されている通学路安全推進会議において危険箇所の情報を共有し対策についての協議

質問

担い手対策の今後の方向性は。

小林産業振興課長

従来通り農業経営の法人化による多様な担い手の育成・女性の経営参画・新規就農者の確保を進めると共に、農地集積や共同活動を推進しながら衰退する集落を再活性化していきたい。

質問

農業支援センターを設立する考えは。

町長

非常に必要性のある組織だと認識しているが、コロナ禍でもあり、人材確保・人材・人員数の不足の状況にあり支援が不足しているのは把握している。今後担当課と密に打ち合わせをしながら対策を考えていきたい。

その他の質問

- ① 障害者専用駐車場について
- ② 災害指定避難所の高齢者・障害者駐車場及び施設について
- ③ 町長選挙公約について



ボランティアの登校指導

Q 地区座談会の開催は

A 状況を判断しながら

と思うが、近年開催されていない。今後開催する考えは。

町長

就任以来一度しか行えていないが、町民の代表である議員と協議・議論を交わす事が、民意を反映する事だと考えている。町民の方々の意見を聞く事は大変意味のある事だと思っはいるが、コロナ禍でもある為状況を判断しながら開催したい。

質問

町民からの生の声を聞く事が、町政では一番大切だ



豊永 好人員員

Q 農業の問題把握や対策は

A 担当課と協議検討

猪原 清 議員



質問

天候不順による米収量の激減、コロナ禍の影響を受けた生産者米価の下落に加え原油高騰による燃料価格の上昇が稲作・ハウス農家の経営を圧迫している。基幹産業を守るためどのような支援策を講じるのか。

小林産業振興課長

米収量減少に影響する病害虫対策としてはJ・A指導による防除費用抑制対策を、米価下落に対しては他作物農家等との兼ね合いなどの事情があり制度設計や財源



原油価格高騰に苦悩するハウス農家

確保が難しい。燃油価格高騰への補填は国の支援だけでは出来ない。収入保険の加入促進が重要である。

町長

農業者支援についてはいろんな補助金を使いながらできるところまではやっているが、補助の形が国県か

えびすの湯の方向性は

いずれかは決断

質問

町が経営するえびすの湯など継続かつ健全な経営が困難と思われる施設経営の方向性をどのように考えているか。

岡本住民はけん課長

えびすの湯については幾度となく協議がなされているが、結論には至っていない。今後の運営については3回目のワクチン接種が終わり次第協議をする。

町長

施設運営について今後の住民アンケートに赤字の実態も書いて問いかけしていきたい、いずれは誰かが決断しなくてはいけないが、利用者・従業員のことなど解決すべき問題がある。今は町の施設が次々と老朽化していき撤退の政治の真つただ中にあるが、えびすの湯については町の中心にあり何らかの用途で使えらると思うので、その方向で対応していく。



どうする?! えびすの湯

その他の質問

- ① 災害に強い町づくりとは
② マイナンバーカード普及促進策は

防災訓練の成果と反省点は

意識の向上と反省点は多数

質問

防災訓練の成果と反省点は、

椎葉危機管理防災課長

成果は町の機構改革により各組織の役割確認や流れの把握ができた。反省点は情報伝達・受付方法・夜間発生時や平日の学校関係との連携等の問題提起が少なかった。また行政区の参加が少なかった。

訓練内容と今後の訓練は、

椎葉危機管理防災課長

関係機関総勢約1,400名での訓練をした。職員は本部設置運営・避難所開設・炊出し等、自主防災組織はシエイクアウト・避難訓練、避難所では防災講話・段ボールベッド・マンホールトイレ設置等、消防団は、水防工法・中継送水訓練等を実施した。今回の反省点等を踏まえ、次年度梅雨前5月に実施予定である。

村山 昇 議員



本部設置訓練中

災害発生時等の土捨て場は

人吉・球磨で現在8ヶ所

質問

災害による、ダムを含む河川掘削等での土捨て場は、

林田建設課長

人吉・球磨で現在8ヶ所の民有地があり、本町は祓川運動公園が仮置場となっている。

質問

二次災害の可能性を鑑み今後の計画と申請は、

水田農林整備課長

林地開発制度等によりか

消防組合本部の広域化は

今後慎重な検討協議を

質問

近年の災害は大規模でまた、局地的でもあり多岐にわたる。消防組合の広域化・規模拡大が不可欠と思うが。

町長

消火力強化の趣旨は理解できる。これまでの経緯は城南ブロック広域協議会で3年半にわたり協議してき



祓川公園仮置場

宇佐 信行 議員



水田農林整備課長

県営治山要望を出している箇所として令和2年度が32ヶ所、令和3年度に18ヶ所となっており、治山事業の取組、または問題が解決した箇所が14ヶ所となっている。久米地区の治山要望箇所は1ヶ所となっているが、治山事業については県により優先順位が決められる。また県により設立された「幸野溝等への土砂流出抑止対策検討委員会」で、令和4年度から検討された内容によりモデル地区等を設け検証していくと聞いている。

Q 土砂流出抑止の治山対策は
A 県へ要望

質問

久米川内川・枝川内川・奥野川水系における土砂流失対策は。

久米川内川の砂防堰堤の増設についての見解は。
林田建設課長

本町と湯前町にまたがる河川であり、砂防堰堤の必要性を研究していく、必要であれば湯前町と協力の上、県に対し設置の要望をしていく。

Q 法人と協働の森づくりの方向性は
A 申し込みを続けていく

質問

企業との協働の森づくり事業に積極的に取り組む考えは。

この事業は県独自の事業で主伐事業を開始した平成24年度より申し込んでいる。今後もこの事業には申し込みを続ける。

Q 防火水槽の維持管理計画は

A 土地の所有者等調査していく

質問

点検・整備は。椎葉危機管理防災課長

維持管理については消防団各部にて実施している。整備については各消防団からの要望を聞き精査し整備を進めている。

公有財産とするのか、その計画は。椎葉危機管理防災課長

公有財産とする計画はないが、設置場所の所有者については調査していく。

防火水槽の表示板について。椎葉危機管理防災課長

消防団からの要望があった場合、表示板を渡し設置しているが設置してないところは調査し優先的に設置していく。Web版ハザードマップ



今後どうする？ 無蓋防火水槽

その他の質問

① ふれあい交流センターえびすの湯について

Q デジタル化に向けた人材の確保は

A 予算を活用し早急に取組む

質問

地方からデジタルの実装を進め、都市間格差の解消と地域活性化を強力に推進する「デジタル田園都市国家構想」の認識は。

林田企画観光課長

デジタル化に向けた取組は、まちづくり・地域づくりのみならず、地球温暖化対策など環境保全にも繋がる重要な取組みであるとして理解しており、国の交付金に関する情報などを関係各課と共有しながら事業化についても協議していく。

質問

※DX(デジタルトランスフォーメーション)を強力に推進するために今後、民間も含め高度な専門知識を持ったデジタル化に向けた人材の確保は最優先事項として位置付け早急に取組むべきでは。

町長

デジタル化の波が本格的に地方に押し寄せるとなること、デジタル化に向けた人材の確保は喫緊の課題である。本町もしっかりと準備し内容が分り次第、是非予算を活用し早急に取組みたい。

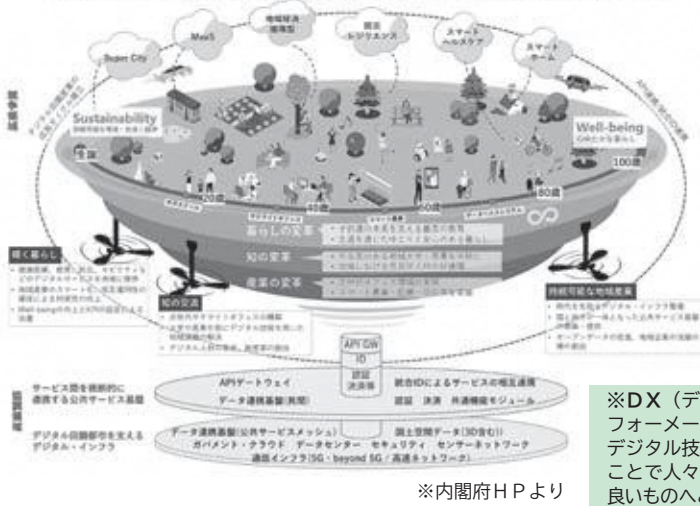
町長

山に負荷を掛けずに林業を続けていくことが、自伐型林業だと聞いている。さらに、農業との兼業も可能だということ、既に始めている人は、大都会から地方に移住してきた人も多いため聞いている。また、林野庁でも推奨されているので担当課と研究する。

坂口 幸法 議員



デジタル田園都市国家構想の取組イメージ (デジタルからのアプローチ)



※DX(デジタルトランスフォーメーション)とは、デジタル技術を浸透させることで人々の生活を、より良いものへと変革すること。

Q 自伐型林業の推進は
A 担当課と研究する

水田農林整備課長

高齢化や後継者不足により民有林の森林管理に不安を感じている。今後民有林整備を推進していく中で、重要なものになると考えているため先進地域の情報を収集し検討したい。



土砂災害が起きた球磨川流域の山林

その他の質問

① エコポイントシステム導入について

くぼた たけはる
久保田 武治 議員



Q 国保税「子どもの均等割」軽減は

A 精査し検討

質問

国保税に未就学児の「均等割」を5割軽減する国の制度がはじまる。本町の国保税の滞納額・世帯・差押えの状況は。

東税務課長

滞納繰越分が約8千390万で185世帯、差押え件数が9件となっている。

質問

国民健康保険の基金残高は。

岡本住民ほけん課長

令和3年3月末で現金と有価証券合わせて1億7千567万7千円となっている。

質問

芦北町では町長の政策判断で「均等割」をなくし、北海道の大雪地区広域連合では今年度から「18歳以下の子どもの均等割」を半額にするなど支援が広がっている。

いる。本町でも子どもの「均等割」の軽減や、国保税の引き下げなど検討できないか。

町長

滞納者・滞納世帯に18歳以下の子どもが含まれているのかなど、滞納とのリンクなど検討したい。

公的医療保険の比較

	市町村国保	協会けんぽ	組合健保
加入者数(2017年3月末)	3,013万人	3,807万人	2,946万人
加入者一人当たり平均所得(同)	86万円	148万円	214万円
加入者一人当たり平均保険料(同)	8.6万円	11.2万円	12.4万円
保険料負担率	10.1%	7.5%	5.8%

国民健康保険中央会「国保のすがた」

「平和な世界を希求する人間の育成」を指針に掲げているが、今の時代の「平和教育」の意義や必要性についてどのような認識か。

質問

佐藤教育長

平和教育は全ての教育活動の中で、生命尊重に係る最も重要で欠かせない教育である。平和教育を根底に据え徹底し、幼年期からヒューマニズムの思想や精神を養い、戦争を憎み平和を愛する人間を育成する事が重要である。

教育行政指針に児童生徒の政治への興味関心の涵養と政治的教育の育成を挙げているが、どのように取り組むのか。

質問

佐藤教育長

学習の場で、いじめや争いのない学級づくりを進める事。主権者教育で政治への関心を高め、日本国憲法や教育基本法の十分な理解と行動化をはかること。教育が戦争の正当化や戦意高揚に繋がらないよう教科書内容を厳しく精査するなど努力していく。



その他の質問

- ① 農地等の保全・管理について
- ② 流域治水について

どうする? 『えびすの湯』

厚生建設文教常任委員会 (文責: 落合)



「えびすの湯」については、老朽化も伴い毎年数千万の「赤字」となっている。これまで様々な打開策を打ってきたが、抜本的な解決には至っていない。しかし、「赤字」だからといって、必要のない施設という簡単なものではない。「赤字」の中のいったい何割が、町民の健康維持や生活に役に立っているのか?施設がある事で、実は民生費が抑えられてるのではないのか?また、どのような視点で考えればいいのか?委員会内でも、新しい活用方法・施設の存続・廃館を含め答えを出し、執行部に提案すべきではないか!との意見も。まずはどう考察していくのが民意をすくい納得する答えにたどりつけるのかを協議していく事とした。

「えびすの湯」収支の推移は …

(単位: 円)

	収入	支出	差額	備考
平成24年度	0	33,685,875	△33,685,875	指定管理者制度の導入
平成25年度	0	35,594,729	△35,594,729	指定管理者制度の導入
平成26年度	24,928,492	63,334,780	△38,406,288	
平成27年度	23,138,917	66,084,694	△42,945,777	内 工事費 1,200万円
平成28年度	23,977,060	57,692,915	△33,715,855	
平成29年度	23,451,058	64,492,165	△41,041,107	内 修繕料 648万円
平成30年度	22,247,739	78,930,387	△56,682,648	民間事業所へ業務委託 内 修繕費 1,682万円
令和元年度	26,421,426	63,701,176	△37,279,750	民間事業所へ業務委託
令和2年度	15,969,224	59,238,633	△43,269,409	民間事業所へ業務委託

国史跡指定を目指して! 『多良木相良氏関連遺跡群』を視察

総務産業常任委員会 (文責: 猪原)

国史跡への指定を目指し発掘調査中の「伝相良頼景館跡」を両委員会で視察した。

発掘調査が行われている伝相良頼景館跡では北側土塁の外には、幅約6m、深さ2m規模の葉研掘りの濠が確認され、そこからは15世紀中頃の中国の青磁器が出土した等の説明を受けた。

今回視察した「伝相良頼景館跡」をはじめとする「青蓮寺境内地」及び「東光寺磨崖梵字」の遺跡調査のために町は専門家による委員会を設置し、より学術的な調査に基づいた歴史的価値を明らかにすることで国史跡への指定を目指している。



説明を聞く両委員会



夕日に映える初冠雪 市房山

豆ずしき

「町は3回目の接種ばすっとね？」



多良子

今度3回目のコロナワクチン接種ばしやとじゃろ？

いよいよ前んごと医療関係者から始まるげなばい。
もちろん「するか、せんか」は自分で決めてよかとばい。😊



球磨雄



多良子

私どんなどぎゃんなつとネ？

予定じゃ「希望者調査」ばしやってから、高齢者は2月ごろから始め
やとげな。そんな時は寒か時じゃって「保健センター」でしやる予定
で高齢者以外の方は4月終わりごろから、ぬくーなつとで「体育館」
でしやっ予定んごたばい。😓



球磨雄



多良子

そら一爺さん・婆さんの喜びやとど。重症化は低つかごたる
ばってん「オミクロン株」もテレビじゃ3回打てば予防効果
の上がるって言うもんネ。😊

予定じゃ「ファイザーとモデルナ」のあつて、国のしや
るこつじゃって希望者にや全部打たるつごたばい。
どつちば選んですつかは希望調査すつとげな。😓



球磨雄



多良子

あら、今度はモデルナもあつとネ、新聞にやファイザーば打った
もんが3回目にモデルナ打つと抗体が31倍ぐらいにやなるごと書
いてあつたネ。😊

ばってん若つかもんは副反応の事もあつて、どつちが良かか、
自分でよー考えて打たんばんたいね！



球磨雄



多良子

私も医者さんやらに相談して決めんばんたい。
コロナいっちょん好かんネー。😓

くま川鉄道が帰ってきた。部分開業とはいえ、久しく聞くことがなかった列車の音が、踏切の警報音が私の生活の中に戻ってきた。遠くから聞こえてくる列車の音に遠い昔を思い出した。

私は中学時代の3年間牛乳配達をしていた。朝もやの中、黒くて無骨で大きい荷台の自転車で牛乳を配達している途中、赤坂の踏切前を9両編成の国鉄湯前線一番列車が勢いよく通過して行った。当時の日本は昭和の高度経済成長期の真っ只中、海外ではベトナム戦争が熾烈を極め、国内では学生闘争で「東大安田講堂」を機動隊が取り囲み、テレビでは力道山やジャイアント馬場が外国人プロレスラーを蹴散らし、王や長嶋がホームランや華麗な守備で国民を喜ばせていた。大相撲でも負けない横綱大鵬が白黒のブラウン管の中で躍動していた。とにかく昭和の日本は活気にあふれていた。そして時代は令和に移り、50年前の日本とは大きく様変わりした日常のなかに私はいない。しかし、昔と何ら変わることはない。くま川鉄道の列車音を聞いて変えていくべきことと決まるとは変えていけないことが世の中に永遠に存在するのだということを実感した。

(文責 猪原 清)

編集後記

広報特別委員会
◎林田 俊策 中村 正徳
◎源嶋たまみ 坂口 幸法
猪原 清 落合 健治